

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課： 都市整備課

担当課長名： 清水 洋一

事業名	3・4・40 <small>みやはらまちたかぼたけせん</small> 宮原町高畑線		事業区分	街路 (一般県道)	事業主体	新潟県
起終点	自：新潟県 長岡市 千歳町 1丁目 至：新潟県 長岡市 豊田町			延長	0.7 km	
事業概要	都市計画道路の宮原町高畑線は、国道17号から長岡市街地へ誘導する東西軸の幹線道路として位置付けがされている。また、鉄道施設(貨物線・信越本線・上越新幹線)により分断されている長岡駅近隣における市街地の一体性の確保および円滑な交通処理確保をはかるものである。					
H7年度事業化	S21年度都市計画決定 (H10年度変更)	H8年度用地着手	H11年度工事着手			
全体事業費	約 57億円	事業進捗率	96%	供用済延長	0.7 km	
計画交通量	7,300台/日					
費用便益 分析結果	B/C (事業全体) 1.6 (残事業) 12.5	総費用 (残事業)/ (事業全体) 8/62億円 事業費： 8/62億円 維持管理費： 0/0億円 ※四捨五入の関係で維持管理費が0億円となる。	総便益 (残事業)/ (事業全体) 100/100億円 走行時間短縮便益： 96/96億円 走行費用減少便益： 3/3億円 交通事故減少便益： 1/1億円	基準年 平成16年		
事業の効果等	国土・地域（現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する） 個性ある（鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する。） 他2項目に該当					
関係する地方公共団体等の意見	宮原町高畑線〔(-)南長岡停車場線〕は、国道17号と市役所や市立劇場等の文化行政地区に接続する路線であるため、アクセスの向上と混雑解消等に果たす役割は大きい。平成3年11月8日に長岡市より跨線橋の架け替えに関する早期整備の要望を受けている。					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	沿線にある長岡操作場跡地の約10haは、長岡地域の拠点地区として整備するため、平成8年度から用地買収が行われ、現在は整地整備が完了している。今後は立地条件を活用した施設整備がはかれることから、本路線の果たす役割は年々大きくなってきている。					
事業の進捗状況、残事業の内容等	鉄道立体交差に関する道路整備はほぼ完了しており、残工事はアプローチ通路と沿道の緑地整備である。					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	鉄道施設との立体交差に伴う施行協議が難航したため、工事着手までに長期間を要したが、現在は工事の大部分が完了したことに伴い、平成16年9月1日より供用を開始している。					
施設の構造や工法の変更等	事業採択後、跨線橋の架設工法を、送り出し工法からクレーンの直接架設工法へ変更した。					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	事業の必要性に関する視点および進捗見込みの視点で再評価し事業継続が必要である。					
事業概要図						

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。